第3回　加賀市立学校施設の在り方に関する検討会議

日 時：令和8年10月19日（月） 18：30～

場 所：加賀市市民会館　2階　第2会議室

会 議 次 第

１ 開 会

２ 教育長あいさつ

３ 議 事

（１） 学校施設シミュレーションについて

（２） 学校施設の在り方の方向性について

（３） 検討内容の周知について

４ 閉 会

学校施設シミュレーションについて

アンケート調査の結果、構造化の結果、第2回会議での委員の皆さまの意見を踏まえ、下記、4パターンでシミュレーションを行った。

① 1学年2学級をできる限り維持するパターン
② 1学年1学級以上で1学級11人以上を維持するパターン（未満校は既存校に集約）
③ 1学年1学級以上で1学級11人以上を維持するパターン（未満校は新校に集約）
④ フェーズ3まで1中学校区1小学校を維持し、フェーズ3を目途に小・中1校（新校）とするパターン

【設定】

○ 児童生徒数シミュレーションの各年次の児童生徒数を基礎データとする。
○ 通学区域が無く児童生徒数のシミュレーションが出来ない義務教育学校1校は含まず、小学校16校・中学校5校（合計21校）で検討
○ 新校の位置は、本シミュレーションに含んでいない。
○ 小中学校の義務教育学校化は、本シミュレーションに含んでいない。

なお、設定上、小学校数が中学校数を下回るケースがあるが、児童生徒数シミュレーションに応じた算出の結果として、補正は行っていない。

【●●年後の表現について】

過去の児童生徒数シミュレーションでは想定以上に少子化が進行したことから、今回のシミュレーションでも、少子化進行のスピードが想定と異なることも考え得ることから、●●年後ではなく、シミュレーション上の状況を文章化して表現する。

児童生徒数 シミュレーション	児童生徒数の状況（現状変更なしでの状況）	学校施設 シミュレーション 上の表記
10年後 R18（2036）	【小学校】現在の16校のうち半数が複式学級校となっている。そのほかの学校も、ほとんどが単学級校となっている。 【中学校】半数以上の学校で、複数学級を維持できている。	＜フェーズ1＞ 小：単学級校化 中：複数学級維持
20年後 R28（2046）	【小学校】複式学級校が増加し、残りの単学級校5校も複式化が視野に入っている。 【中学校】かろうじて半数以上の学校で、複数学級を維持できている。	＜フェーズ2＞ 小：複式学級校化 中：単学級校化初期
30年後 R38（2056）	【小学校】ほとんどの学校が複式学級校となっている。 【中学校】複数学級校が無くなり、複式学級校が増えだしている。	＜フェーズ3＞ 小：ほぼ複式学級校 中：単学級校化
40年後 R48（2066）	【小学校】全ての学校が複式学級校となっている。（市内全児童を集めれば、複数学級校が1校できる。） 【中学校】半数が複式学級校となっている。（そのほかの学校も単学級校となっている。市内全生徒を集めれば、複数学級校が1校できる。）	＜フェーズ4＞ 小学校全校と中学校半数が複式学級校
50年後 R58（2076）	【小学校】ほとんどの学校で1学年の児童数が0～3名となっている。（市内全児童を集めれば、単学級校が1校できる。） 【中学校】1校を除き複式学級校となっている。（市内全生徒を集めれば、単学級校が1校できる。）	＜フェーズ5＞ 小学校全校で1学級が0～3名、中学校がほぼ複式学級校

【学校施設シミュレーション】

児童生徒数シミュレーションからの想定局面	児童数推計	生徒数推計	① 1学年2学級		② 1学級11人以上（既存校に集約）		③ 1学級11人以上（新校に集約）		④ フェーズ3まで 1中学校区1小学校 その後小・中1校（新校）	
			小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
＜現在＞	2,395人	1,407人	16校	5校	16校	5校	16校	5校	16校	5校
＜フェーズ1＞ 小:単学級校化 中:複数学級維持	1,362人	932人	3校	5校	8校	5校	9校 （新校+8校）	5校	5校	5校
＜フェーズ2＞ 小:複式学級校化 中:単学級校化初期	777人	498人	2校	4校	6校	4校	4校 （新校+3校）	5校	5校	5校
＜フェーズ3＞ 小:ほぼ複式学級校 中:単学級校化	455人	289人	1校	3校	3校	3校	2校 （新校+1校）	5校	5校	5校
＜フェーズ4＞ 小学校全校と中学校半数が複式学級校	272人	169人	1校	2校	2校	2校	1校 （新校）	4校 （新校+3校）	1校 （新校）	1校 （新校）
＜フェーズ5＞ 小学校全校で1学級が0～3名、中学校がほぼ複式学級校	179人	101人	不可 （1校）	1校	1校	1校	1校 （新校）	1校 （新校）	1校 （新校）	1校 （新校）
※今後40年間の維持・更新の仮コスト	899億円		271億円		504億円		495億円		503億円	

※ 2020加賀市学校施設長寿命化計画（更新版）を基にフェーズ4を40年と想定し試算。③と④は新校の建設費含む。
※ コストは、光熱水費・委託費、長寿命化改修、大規模改造、改築、施設整備費(維持補修費含む)、その他施設関連経費の合計

【まとめ】

想定	文字化
①1学年2学級	【小学校】 ○ フェーズ1を目途に、3校に編成 ○ フェーズ3を目途に、1校に編成 【中学校】 ○フェーズ1までは現状を維持、以降、段階的に編成
②1学級11人以上 （既存校）	【小学校】 ○ フェーズ1を目途に、現在の中学校に対し1～3小学校に編成 ○ フェーズ3から段階的に編成 【中学校】 ○ フェーズ1までは現状を維持、以降、段階的に編成
③1学級11人以上 （新校）	【小学校】 ○ 順次、新校1校に編成 【中学校】 ○ フェーズ1までは現状を維持、以降、新校1校に編成
④フェーズ3まで1中学校区1小学校 フェーズ3後小・中1校（新校）	【小学校】 ○ フェーズ1を目途に、現在の中学校に対し1小学校に編成 【中学校】 ○ フェーズ3までは維持 【小学校、中学校ともに】 ○ フェーズ3以降に、小中学校とも新校1校に編成